

## 再生増殖制御学セミナー

# *zic* 遺伝子が創る新しい背側のアイデンティティ

講師：武田 洋幸 教授

東京大学大学院理学系研究科生物学専攻  
動物科学大講座動物発生学研究室

日時：平成 23 年 4 月 15 日（金） 16:30 -

場所：再生医科学研究所 東館 5F ルーフテラス

### < abstract >

転写因子をコードする *zic1* 及び *zic4* は、体幹部の背腹パターンに異常を示すメダカ突然変異体 *Da* の原因遺伝子であり、野生型胚において体節の背側で発現している。BAC トランジェニック魚を用いた発現解析により、*zic1/zic4* は胚発生期に体節背側で発現が誘導され、筋肉、椎骨、真皮といった体節由来組織の背側半分において、その発現が成体に至るまで継続することを見いだした。これらの発現パターンには明確な境界が存在しており、メダカ体幹部において背腹のアイデンティティが一生涯に渡り維持されていると考えられる。今回は、*Da* 変異体の解析により明らかになった新しい背腹パターン形成のメカニズムおよび *zic* 遺伝子の epigenetic な発現制御機構について紹介したい。

主催：京都大学再生医科学研究所

再生増殖制御学分野（瀬原） Tel:751-3826

後援：京都大学グローバル COE 「生命原理の解明を基とする医学研究教育拠点」

